



自治会だより 地域の絆

第4回

●問い合わせ 協働推進係

魅力あふれる遠賀町の自治会活動から、皆さんが思わず「かわいいね!」と言いたくなる素敵なニュースをお知らせします。

子どもは
地域の宝

木守区

世帯数 408世帯
自治会加入率 99.7%
高齢化率 24.6%

農業中心であった木守区では、農耕の神様を奉る井手神社で古くから伝統ある行事を行っています。



さあ、今から子どもみこしに出発

五穀豊穰、家内安全を祈願する「お獅子さま祭り」や、今年で31回目

となる「子どもみこし」、10月になると、境内の土俵で小学生の男女が熱戦を繰り広げる「奉納子ども相撲」などがあります。

木守区でも例外なく子どもが減少しており、これら古くから伝わる伝統行事の存続が危ぶまれています。今後も子どもと区民がともに参加できる、魅力ある行事を考えていかなければと思っています。

祝!レガッタ
全国大会出場

広渡区

世帯数 513世帯
自治会加入率 99.4%
高齢化率 31.5%

広渡区では、秋になると小学生によるおくんち相撲が行われます。華麗な投げ技や豪快な押し出しなど白熱した闘いが繰り広げられ、会場からいつも大きな歓声が上がります。



慣れないまわしにみんなドキドキ

5月に開催されたおんがレガッタでは「広渡なんでんかんでん3号」が区対抗男子の部で見事優勝を果たしました。また、9月に秋田県で開催される全国市町村交流レガッタには、レース結果によりオープン男子の部から「広渡なんでんかんでん2号」が遠賀町代表として派遣されます。



「広渡なんでんかんでん」の皆さん

Environmental Hygienics

●問い合わせ 環境衛生係

環 境 衛 生 だ よ り

熱中症に「注意を!」

7月は熱中症予防強化月間。熱中症は一人一人が正しい知識を持つことで、防ぐことができます。近年、熱中症は職場や学校、スポーツ現場だけではなく、夜間や室内でも起こります。そして、子どもから高齢者まで幅広い年齢層で発生しています。

●予防するには

〈水分補給はこまめに!〉

喉の乾きを感じたときには既に体は水分不足の状態です。一度に多く飲むより、少しずつこまめに水分補給しましょう。

特に起床時や外出前、入浴前、寝る前はコップ1杯の水分補給をします。大量に汗をかいたときはスポーツドリンクや経口補水液で電解質も補給しましょう。

〈涼しくする工夫!〉

外出時は日傘や帽子を持ち、日陰を歩きましょう。服装も通気性と速乾性の良いものを着ましょう。室内ではエアコンや扇風機を上手に使用しましょう。

●熱中症の症状

意識障害・失神・高熱・顔が赤い・ふらふらする・立ち上がれない・大汗・息が荒い・ボーツとしている・だるい・気持ち悪い・頭痛・吐き気・めまい・手足のしびれ・足がつる・筋肉痛(けいれん・腹痛・下痢など)

●応急処置の方法

もしあなたのまわりの人が熱中症になったら、落ち着いて状況を確かめ、対処してください。

①暑熱環境(身体に影響を与える夏の暑さ環境のこと)にいた人が体調不良になったら、熱中症を疑います。

②意識があれば涼しい場所に移し服を緩め体を冷やします。後頭部・首筋・脇の下、足の付け根を集中的に冷やしてください。

③自分で飲める場合、イオン飲料、経口補水液などで水分・塩分を与えます。自分で飲めない場合は、医療機関へ連れて行きます。

④気分が回復するまで、しばらく安静にします。その場で十分に休憩した後は、家で休ませます。回復しない場合は、状況を知っている人が付き添い、医療機関へ連れて行きます。

●環境省のホームページ「熱中症予防情報サイト」では、気温や湿度などから算出される暑さ指数「WBGT値」が掲載されていますので、ぜひ熱中症予防に役立ててください。